

## 事業事前評価表

### 国際協力機構アフリカ部アフリカ第一課

#### 1. 案件名（国名）

国名：南スーダン共和国

案件名：ジュバ市内橋梁建設計画

(the Project for Construction of Bridges in Juba)

G/A 締結日：2022年4月27日

#### 2. 事業の背景と必要性

##### (1) 当該国における道路セクターの現状と課題

過去 50 年以上に亘る内戦の影響等により南スーダン共和国のインフラ整備水準は低く、首都のジュバ市内においても道路は土道や砂利道が多くを占めている状況である。ジュバは国内及び国際交通の結節点でもあり、市内道路の整備は、人々の移動の利便性向上とともに、物流改善の観点からも重要である。JICA は、2008 年から 2010 年まで「ジュバ市交通網整備計画調査」を通じて、市内幹線道路計画の策定に係る協力を行った。現在、南スーダン政府により同計画に基づき市内の道路網整備が進められているが、市内幹線道路に位置する橋梁には、幅が狭く交通のボトルネックとなるもの、施工不良又は老朽化により通行に危険が及ぶ恐れがあるものが混在し、重車両の通行が困難な箇所がある。かかる状況下これらの橋梁の安全な通行と橋梁を含む区間における市内交通の円滑化を図ることが喫緊の課題となっている。

##### (2) 当該国における道路セクターにおける本事業の位置づけ及び必要性

南スーダン政府は「南スーダン開発計画（2018～2021）」の経済クラスターにおいて、経済インフラ開発を経済成長や生産性向上に不可欠な主要課題であるとして挙げており、本事業はこの方針に合致する。

##### (3) 道路セクター対する我が国及び JICA の援助方針と実績

本事業は、第 7 回アフリカ開発会議（TICAD VII）横浜行動計画の「イノベーションと民間セクターの関与を通じた経済構造転換の促進及びビジネス環境の改善」の質の高いインフラ投資を通じた連携性の強化に該当するとともに、我が国の対南スーダン事業展開計画（2011 年）の援助重点分野「新国家建設支援（インフラ整備・ガバナンス能力強化）」に合致する。我が国は、これまでに開発調査「ジュバ市交通網整備計画調査」（2008 年）、紛争予防・平和構築無償「ジュバ市道路橋梁整備計画」（2009 年）、技術協力「ジュバ市持続的な道路維持管理能力強化プロジェクト」（2011 年～2014 年）の支援実績がある。

##### (4) 他の援助機関の対応

14 のドナー及び世界銀行の資金で運営される Multi-Donor Trust Fund (MDTF) for South Sudan にて、緊急性の高い幹線道路やフィーダ道路の改修を実施しているほか、WFP 等のドナーが人道支援実施のために地方都市において橋梁建設を実施。アメリカ合衆国国際開発庁（USAID）はジュバーニムレ道路改修事業に係る協力を実施（2012 年 8 月完工）。EU やカナダ国際開発庁（CIDA）等の他ドナーは地方フィーダ道路に対する協力を実施

している。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的

本事業は、ジュバ市内の幹線道路上にある4橋梁の架け替えを行うことにより、安全な通行の確保および交通容量の拡大を図り、もって交通利便性向上及び物流改善に寄与するもの。

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名

ジュバ市（人口約52万人）

#### (3) 事業概要

##### 1) 土木工事、調達機器等の内容

ジュバ市内4橋梁（No. 1, 4, 7, 10）の架け替え（4車線、橋長10～15m、アプローチ道路90m～200m、護床工、護岸工）

##### 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、施工監理。ソフトコンポーネントはなし。

#### (4) 総事業費/概算協力額

総事業費2,675百万円（概算協力額（日本側）：2,655百万円、南スーダン共和国側：20百万円）

#### (5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2022年4月～2025年2月を予定（計35ヶ月）

#### (6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

道路橋梁省（Ministry of Roads and Bridges）

#### (7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

###### ① カテゴリ分類：B

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）（以下、JICAガイドライン）に掲げる道路、橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

③ 環境許認可：本計画の環境影響評価（EIA）報告書は2013年10月に環境省によって承認済み。その後EIA改訂版が作成されており、2022年5月に許認可を再取得予定。

④ 汚染対策：工事中の大気汚染については、散水等の粉塵対策が行われ、水質汚濁については、余剰土等の廃棄物の適切な保管等の対策が行われる。また、騒音については適切な状態の建設機材を使用するとともに、夜間工事を避ける等の配慮が行われる見込み。供用時は、橋梁の改修及び道路の舗装により平均走行速度が上がることで、大気質及び騒音等への影響は緩和される想定。

⑤ 自然環境面：本事業対象地域は国立公園等の影響を受けやすい地域またはその周辺に該当せず、自然環境への望ましくない影響は最小限であると想定される。

⑥ 社会環境面：本事業に伴う用地取得および非自発的住民移転は発生しない。工事中、一時的に営業に影響を受ける可能性がある事業者に対しては、JICAガイドラインに

沿った適切な補償・支援がなされる予定。なお、本事業に係る現地ステークホルダー協議において、特段の反対意見は確認されていない。

⑦ その他・モニタリング：工事中は道路橋梁省及び施工業者、供用時は中央エクアトリア州インフラ省が、大気質、水質、騒音等をモニタリングする。

2) 貧困削減促進：特になし。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）橋梁部の拡幅により歩道部を確保し、子供等の交通弱者にも優しい道路を整備する。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担：技術協力「橋梁維持管理能力強化プロジェクト」が要請・採択されており、本事業との維持管理面での連携を予定している。

(9) その他特記事項：特になし。

#### 4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

支障物件の撤去、迂回路用地の確保。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

対象地域での治安が悪化しないこと。

#### 5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

東ティモール民主共和国「モラ橋梁建設計画」（2005年）の事後評価結果等では、事業完了後に洪水により橋台及び橋脚の一部が洗掘されたことから、河川特性等を考慮した適切な洗掘対策が必要であるとの教訓を得ている。本事業では、河床洗掘を防止するための護床工とともに、下流部の家屋を河岸浸食から守るための護岸工を含める計画とした。

#### 6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

本事業は、我が国及び南スーダン政府の政策と整合し、ジュバ市における老朽橋梁の架け替えにより安全な交通を確保し、交通容量を拡大させるものであり、緊急性が高く、無償資金協力として本事業の実施を支援する妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値 (2021年実績値)	目標値（2025年） 【事業完成年】
日交通量（乗用車換算）（台/日）橋梁 No.1	21,742	27,970
橋梁 No.4	20,085	25,839
橋梁 No.7	19,582	25,192
橋梁 No.10	22,672	29,167

2) 定性的効果

旅客輸送や物流の定時性確保、重車両通行可による交通利便性向上、歩道整備にともなう歩行者の安全確保。

#### 7. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる主な指標  
6. (2) 1) のとおり。
- (2) 今後の評価のタイミング  
・ 事後評価                      事業完成 3 年後

以 上